

IFRSに関する 監査人サイドの動向



日本公認会計士協会
会長 山崎 彰三

I . 監査人側の準備体制

- ① IFRS担当の副会長、専任の常務理事
- ② IFRS監査・会計特別委員会(10名)の設置
- ③ IFRSデスク(専任 4名)
 - ・ IFRS導入準備タスク・フォース
 - ・ JICPAでの情報センター機能(広報・CPEサポート・指導・連絡・相談等)
- ④ IFRS連絡プロジェクト・チーム(13名)
- ⑤ 中小事務所等施策調査会 [IFRS監査対応研究班(23名)]
- ⑥ 会計制度委員会[IASB対応専門委員会(21名)]
- ⑦ 監査・保証実務委員会[IFRS監査対応専門委員会(10名)]

⑧ セミナー・研修会の開催

- ・ CPE IFRSセミナー

H22年4月~10月上旬:

本 部主催:14コマ28時間:参加者約3,300人

地域会主催:11コマ22時間:参加者約 500人

- ・ 中小監査事務所連絡協議会(中小事務所等施策調査会)セミナー

(H22年7月:参加者約300人)

Ⅱ. 監査人側からの考察

- ① 強制適用の段階的導入の可能性
- ② 広範な諸テーマに対する検討体制のセンター機能
 - ✓ IFRSの開発
 - ✓ IFRSそのものの評価
 - ✓ 投資家の理解
 - ✓ 税法、配当可能利益、規制事業
 - ✓ 非公開会社、単体財務諸表(着手済)
 - ✓ 中小企業
 - ✓ その他